

第40回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和3年4月19日（月）8:30～

場所：401会議室

【協議事項】

防災監：4/20より、愛知県にまん延防止等重点措置が適用されることとなった。適用に伴う市の対応について検討していく。まずは現状報告を防災交通課より。

防災交通課長：愛知県の感染者が徐々に増加してきている。4/17時点では愛知県過去7日の平均が186.6人。ニュースの報道でもあるように愛知県では5日連続で200人を超えている。数値としては、嚴重警戒レベルに達している。また、犬山市の1週間の新規感染者は4人で、10万人あたりの感染者数は5.45人となっている。

第四波の抑制に向け、県よりまん延防止等重点措置適用の旨の通知がきている。措置適用期間は、4/20～5/11の22日間としている。

内容は、名古屋市は20:00以降の外出自粛、営業時間の短縮としており、名古屋市以外では21:00。また、愛知県全域でカラオケ設備等の利用自粛となっている。その他、運動施設、集会場、図書館なども対象施設となっている。

その他としては、感染しない、感染させないという基本的な感染予防対策が打ち出されている。

防災監：まん延防止等重点措置については、今説明のあったとおり不要不急の外出自粛が打ち出されているが、名古屋とそれ以外では時間が異なっている。

他には、コロナウイルス変異株の増加も踏まえ、県をまたぐ不要不急の外出自粛、飲食についても普段一緒にいる4人でマスク会食とされている。さらには今回の措置中に大型連休もはさむため注意が必要。公共施設も対象となっているため、市でも対策を講じていく。

まずは、市民向けのメッセージとして、公共施設の閉館時間について、また、県の対応に準じてご協力いただくよう市HP、メールにて周知を行う。

今回の措置では、飲食店以外の施設についても21:00までとなっているため、市の公共施設についても、内容に沿い21:00を以って閉館という形をとっていく。現状の閉館時間が21:00より遅い施設については、21:00閉館で検討進めるように。前回の緊急事態宣言時と同様に、区分のある施設は、21:00までに閉館できるよう対応すること。加えて、カラオケ設備等を備えた公共施設については、利用を自粛していただく。合唱・コーラスについても同様。

県下におけるまん延防止等重点措置期間は、4/20～5/11までとなっているが、市の公共施設については、周知・準備期間を考慮し4/23～5/11とする。明日より4/23までの期間については、利用者に措置内容を説明の上、協力を仰ぎたいと考えている。

以上の方針で対策を検討している。なお、他市町村については現状まだ対応をする様子はない。ここまでの案について、何か意見はあるか。

教育部長：利用料金の返還について、時間割での細かい内容が規則にないため、前回同様、区切りのいい所で貸出しを切りたいと考えているがよいか。具体的に言うと21:30までの利用区分をなしにしていく。

市長：市民の方には21:00まで利用してもらい、30分の利用不可能区分については、協力を仰ぐ

こと。ここはあくまでお願いになるが。

副市長：施設利用料金については、今は当日徴収という形のはずだが。

市長：あまり早い時間帯から切ってしまうと、利用される市民に申し訳ない。21：00ぎりぎりまで利用を可とし、それ以降についてはお願いすること。

防災監：では、施設ごとで21：00まで使用するとし、はみ出した部分は協力をお願いするという形で進める。ここについては各施設で対応すること。他に何か意見はあるか。

カラオケ等の施設利用についても、基本的には4/23から適用とする。現状入っている予約についても、ご協力をお願いするという形で進めてほしい。

公共施設については、市民部、健康福祉部、教育部のみとなるので、午前中には判断・報告し、本日中には市民にお知らせできるようにする。

その他、この件に限らずなにか意見はあるか。

副市長：まん延防止等重点措置については、これまで同様、利用者周知のため各施設にチラシを貼り出すこと。

市長：協力金について確認事項。これは県がやっている内容になるが、しっかり市民に伝わっているか。商工会議所に属していない事業者など特に。

経済環境部長：実質、商工会議所に入っていない事業者は把握できていない。今日付けで文書を出す予定。ただし、個人経営などの店舗もあるため、全ての店舗をカバーするのは難しいと考えている。

市長：現状可能なアプローチ方法はすべて駆使して伝えてほしい。県がやっているから関係ないなどの考えは捨てるように。

教育長：小中学校については、最大限の予防しながら、これまで通り活動を進める方針。

市長：変異株についてだが、現在大阪で一気に増えている。今までと同じ方法では感染対策をとっているとは言いにくい。特に学校、未来園については、おそらく変異株が拡大しても即座に休校等の措置が取りにくい。であれば、現状取っている対策をしっかり説明できるようにしておくことが大切。今の時点で備えられることは今やること。起きてから対策を講じるようでは遅い。対策としては、感染症の専門家にアドバイスを受けるのも有効。地元の医師会にも協力を仰ぎながら、感染症の専門家の意見を参考に対策すること。また、状況が深刻化してくると、オンライン授業も想定していく必要がある。いざというとき、オンライン授業ができない、休校できない、ではいろいろな観点から問題。明日からでもできるように準備を進め、体制が整っているかを確認すること。

施設についても同様。変異株を想定した場合、今の運用のままで大丈夫か確認すること。大阪は後手に回って大変な事態に陥っている。気を付けること。

防災監：年度も変わり、新規職員が入っているが、職員や職員の家族から出た際の対応について、総務課よりもう一度周知すること。

副市長：変異株の話だが、犬山は最近で10万人あたり27.25%の感染者数、つまりステージ4を超えた時期がある。大きな塊で感染者がでてきている。大半は家族間での感染だが、これまでは家族内クラスターはほとんど起きていない。それが増えているというのは、感染力の強い変異株の可能性もあるのではないか。より一層の徹底した対策が必要な時期である。食事についても、職員はミーティングルームで食事していると思うが、食べる合間合間でマスクをするよ

うに徹底してほしい。

施設での合唱等についても、感染面では非常にリスクが高いため、利用を控えてもらえるように、しっかり説明した上でお願いすること。変異株をあまり軽率に考えないように。

市長：今話のあったように、食事中でも職員同士の感染を抑えるように気を付けてほしい。空いていれば会議室でも応接室でも広く使えばいいと考えている。大丈夫だとは思いますが、昨今、公務員による会食がよく報道されている。注意喚起する側が守っていないという事例がいくつか出ているが、意識を徹底してほしい。

今回は大型連休をまたぐため、気が緩みやすい。より一層意識を徹底すること。職員が意識できないようでは、市民に示しが見つからない。

経営部長：職員勤務についてだが、時差出勤は状況に応じて行うように。一点気になっているのが、事務デスクのパネルを消毒している様子が見られない。また、積極的に換気をしてほしい。

方法については、改めて周知する。

防災監：他に意見がなければ、これで会議を終了する。各課で対応を進めるように。